

プレスリリース

2019年1月28日

スチールリスト、中央ヨーロッパを中心にSQ自動接続クイックカブラの製品群を拡大

2017年のSQ自動接続クイックカブラSQ60とSQ70、2018年のSQ80の市場導入後、スチールリストはこのダイナミックな製品分野で次のステップを踏み出しました。バウマー2019建機展で、当社は新しいSQ65とSQ70/55自動接続クイックカブラを発表する予定です。

自動接続クイックカブラの需要はすべての主要マーケットで伸び続けており、中央ヨーロッパのいくつかの国々では、すでに14トンから50トン級の油圧ショベルの新車の大部分に搭載されています。

「お客様は、当社が完全に自動化されたクイックカブラ市場に参入することを高く評価して下さいます。これは、マーケットの標準と互換性があるため非常に競争の激しい製品です。SQ60、SQ70、SQ80の発売以来、中央ヨーロッパのお客様はスチールリストのSQ65とSQ70/55を切望されていました。Stefan Stockhaus社長は述べています。

スチールリストSQ自動接続クイックカブラは、国際的に成長している対称規格とISO 13030 : 2016に準拠したウェッジロックシステムを備えています。ISO13031 : 2016に準拠することに加えて、当社のSQ自動接続カブラとSQチルトローテータは、オペレータが誤って作業ツールを落とさないようにする特許取得済みのフロントピンロック™技術を備えています。

「大規模なテストと継続的な改善が成果を上げていることは明らかです。」スチールリストCTOであるMarkus Nilssonは述べています。堅牢な設計のおかげで、新しく開発されたカップリングと特許取得済みのフロントピンロック™付きSQ自動接続クイックカブラはお客様から高く評価されています。

新しいSQ65とSQ70/55はバウマー2019建機展直後に受注開始となり、納入は2019年7月以降に開始されます。スチールリスト製チルトローテータと新しいSQ自動接続カブラの一体型製品は2019年末に発売される予定です。

「SQ60、SQ70、SQ80の発売は大きな成功を収めました。Stefan Stockhaus社長は述べています。「新しいSQ65とSQ70/55では、特に中央ヨーロッパで、自動接続クイックカブラのサプライヤとして当社を選択されるお客様がさらに増えると予想しています」

V14-SQ自動接続カプラ用の新しいセルフクリーニング式電気コネクタ

当社のSQ自動接続クイックカプラの開発の一環として、SQクイックカプラと作業ツールを接続するための新しい電気コネクタが開発されました。V14は、既存のSQおよびOQタイプのカプラと作業ツールに後付けが可能な堅牢な14極電気コネクタです。

油圧ショベル用の既存の電気コネクタが、しばしば接続極、小さな接触面および水や汚れにより接続不良が発生することは、よく知られている事実です。これは、元々1960年代にアメリカ軍用通信機器用に設計されたもので、古いV90コネクタの場合に特に発生する事象です。

この問題に対処するために、スチールリストは、SQカプラと作業ツールのために特別に設計された新しい堅牢なコネクタV14を開発しました。

セルフクリーニング機能により電氣的接触を保証

新しいV14電気コネクタは、接続を確実にする大きな接触面を持っています。結合中に表面が互いに滑り合う構造で、良好な接触が保証され、自己洗浄効果も生じます。これにより、既存のコネクタと比較して日常のサービスと清掃が容易になります。

より多くのピンでより多くの機能を追加することができます

V14は、10個ではなく14個の電極を備えているため、テルトローター機能、機械制御システム、または個別のバルブパッケージを同じコネクタに接続することができます。また、スチールリストの既存のクイックカプラや作業ツール、Oilquickをアップグレードできるという点で、V90コネクタとの互換性もあります。

次世代フロントピンロック発売

作業ツールを交換する際の安全性を高めるために、スチールリストは次世代の特許取得済みフロントピンロック技術を発表します。クイックカプラの安全性は、多くの国の建設機械業界で重要な課題の1つです。各国当局および労働安全衛生団体は、建設現場での致命的な怪我のリスクを減らすために、安全基準を上げた、安全なクイックカプラの導入を積極的に推進したいと考えています。

スチールリスト製のフロントピンロックは、作業ツールのフロントシャフトを機械的にロックし、意図しない作業ツールの落下の危険性を大幅に低減します。当社は2012年に、S40からS70までのすべてのクイックカプラと、自動接続クイックカプラSQ60とSQ70に、当社独自のフロントピンロック技術を導入しました。どのようなタイプの電気センサーも使用しない、シンプルな機能と高いレベルの安全性は、非常に多くのお客様から高く評価されており、いくつかの国の保険基金から承認を受けています。

「当社のフロントピンロックシステムのシンプルさ、信頼性、品質は市場環境において他に類を見ません。」 Stefan Stockhaus社長は述べています。新世代のフロントピンロックの発売により、油圧式クイックカプラの安全性がさらに向上します。

スチールリストは、バウマー2019建機展で、新世代の特許取得済みフロントピンロッ技術を発表しました。SQ65、SQ70/55、SQ80の最初のユニットには、この新技術が搭載されません。

スチールリスト工具認識機能とQuantum(3D制御システム) - 作業ツールコントロールの標準化

スチールリストは、チルトロータータ用の新しい制御システムであるQuantum(3D制御システム)とともに、作業ツール管理システムToolRecを導入しました。ToolRecの可能性を活用し、最大限のお客様利益をご提供するために、スチールリスト製S60アダプター以上のすべての作業ツールには、ToolRecモジュールが標準装備されます。

効率向上の要求は絶えず高まっており、その結果、油圧ショベル、作業ツールおよび機械制御システムは、よりインテリジェントになっています。スチールリストによるツール認識、小さくて堅牢で費用対効果の高いツールモジュールは、作業ツールに新しいレベルのインテリジェンスを追加します。

「ToolRecは、作業ツール、油圧ショベル、およびオペレータの間の完璧な連携です。機械はどのツールがアームに取り付けられているかを認識し、機械制御システム内の作業ツールを自動的に変更することができます。オペレータが間違ったツールを選択するリスクが少なく、その上、自分のスマートフォン上のQuantumアプリを通じて作業ツールの位置を常に把握できます。スチールリストStefan Stockhaus社長は述べています。

ToolRecモジュールは、キャブ内の通信モジュールと通信するワイヤレスの電池式ツールユニットです。電池の寿命は5年間です。

Quantum(3D制御システム)は、ライカやトリンブルなどの外部の機械制御システムと通信できます。ToolRecを使用すると、オペレータはシステムに正しい作業ツールを手動で入力する必要がなくなります。その結果、誤った作業ツールのパラメータによる入力のやり直しを排除できます。

「ToolRecを使用して、非常に使いやすく、高いレベルの堅牢性を提供し、毎日のサービスを必要としないシステムを開発することができました。」スチールリストのMarkus Nilsson CTOは述べています。

スチールリストのToolRecは単独でも販売され、制御システムとは無関係にすべての油圧ショベルで機能します。ToolRecは、S60、S70、およびS80アダプターを備えたスチールリストのすべての油圧および機械式作業ツールに標準装備されます。Quantum(3D制御シス



テム)の一部として、ToolRecは接続されているツールに応じてチルトローテータ制御システムの自動速度設定をサポートします。

バウマー2019建機展会場のスチールリストブース【FN 1115/3】へ是非お越しください。直接製品に触れ、当社の製品スペシャリストとご面談下さい。

詳細については以下にお問い合わせください。

Stefan Stockhaus

CEO

Steelwrist AB

stefan.stockhaus@steelwrist.com

+46 709981321